総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成28年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（4/9）

	評価区分（※）	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
ながさき海洋・環境産業拠点特区 （長崎県、長崎市、佐世保市、西海市）	正	4.1	4.7 進捗度 ・県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量 104% ・県内造船所によるバラスト水処理装置の取扱件数 88% ・県内造船所等が建造に携わったあるいは県内に設置された海洋再生可能エネルギー利用発電設備の総設備容量 150%	3.8 規制の特例等 ・本工場と飛び地工場間の公道輸送に係る特例措置 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・海洋エネルギー関連産業集積促進事業 等	4.0	・規制の特例措置等を活用して高付加価値型造船、海洋エネルギー事業が着実に成果が上がっていることが推測される。 ・ほぼ目標値を達成する状況で進捗しており、特に海洋エネルギーに関しては取り組みの幅が広がっている。 ・具体的な事業の進捗を管理する評価指標も必要と思われる。 ・海洋再生可能エネルギー利用発電設備については、平成29年度の目標値が高いことから、潮流発電設備以外の見込みがあるのかなど、目標達成への工程の明確化が望まれる。 ・最終目標である県内産業の裾野の広がりと成長の促進、地域経済の活性化へ向けた出口戦略の検討を期待したい。

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。